

西伯病院休日健診のお知らせ

生活習慣病には自覚症状がほとんどないため、定期的な健診による健康管理が大切です。また、がんは予防や治療ができる病気です。がん検診

で早期に発見し適切に治療することによって、治る可能性が高くなります。西伯病院では毎週月曜日から金曜日まで健康診断を受け付けていますが、休日でなければ健診を受けることが出来ない町民の方のために、1年に3回、休日健診を行っています。健診を受けて健康づくりに役立てましょう。

平成22年度休日健診日程

- ・ 8月29日(日)
- ・ 9月12日(日)
- ・ 10月24日(日) ※がん検診のみ

健診項目

基本健診(40歳未満の方)

身体測定(身長・体重)、血圧測定、尿検査、血液検査および医師の診察を行います。南部町の方は貧血検査も行います。また、必要に応じて心電

図も行います。

特定健診(40歳以上74歳以下の方)

身体測定(身長・体重・腹囲)、血圧測定、尿検査、血液検査および医師の診察を行います。

南部町の方は貧血検査も行います。また、必要に応じて心電図も行います。



胃がん検診(40歳以上の方)

*胃がんとは

胃がんは日本人に多いがんです。早期に発見し、治療が早ければ早いほど治る確率は高くなります。

*胃がんリスクの高いひと

胃の粘膜に炎症、障害を起こしやすいひと。高塩分食を好むひと。タバコを吸うひと。血縁に胃がんになった方がいるひと。

*検査について

胃がん検診は胃透視(バリウムを飲んでのX線撮影検査)と胃カメラ(内視鏡検査)があります。胃カメラは胃

透視に比べ組織検査ができるのが大きな利点です。胃がんかどうかは組織検査で判断されます。しかし検査に時間と手間がかかり費用も高価なため、胃炎などで胃がんが心配な方にお勧めします。

なお、胃がん検診の日曜日健診は胃カメラのみ受け付けています。また、当日は予約受付の順番で検査を行います。

大腸がん検診(40歳以上の方)

*大腸がんとは

大腸がんは日本での増加傾向が著しいがんです。早期に発見すれば完全に治すことが可能です。しかし、発見が遅れば取り除くことが困難な転移が起り、放射線や抗がん剤による治療が行われます。

*大腸がんリスクの高いひと

油っこい料理が好きで野菜をあまり食べないひと。生活が不規則なひと。便秘気味や下痢気味になることが多いひと。血縁に大腸がんになった方がいるひと。

*検査について

大腸がん検診は検便による便潜血検査を行います。この検査により大腸がんが疑われる方には、後日、注腸

透視(肛門から大腸にバリウムと空気を注入して行う検査)あるいは、内視鏡による検査をしていただきます。

乳がん検診(40歳以上の女性の方)

※受検は2年に1回です

*乳がんとは

日本人女性が最もかかりやすいがんが乳がんです。早期に発見して治療を受ければ、多くの場合再発することなく過ごすことができます。早期発見のためには、視触診に加えマンモグラフィ(乳房専用のX線撮影)や超音波装置などの画像診断が重要です。

*乳がんリスクの高いひと

未婚のひと。初産年齢が30歳以上のひと。動物性脂肪摂取の多いひと。成人で高身長の一ひと。血縁に乳がんになった方がいるひと。

*検査について

乳がん検診は医師による視触診とマンモグラフィにより行います。

休日健診は予約制です。健診を希望される方は、あらかじめ電話にて予約をお願いします。

西伯病院医事課(66・2211)